広報 ほろかない

2022年
3
No.795

幌加内町 検索

[表紙]ほろみんの冬あそび!

お店屋さんごっこを楽しんだよ

1月26日（水）双葉保育園の園児たちがお店屋さんごっこをしました。

売り手の園児は、店舗に手作りの商品を並べ「いらっしゃい。いらっしゃい」と元気な声でお客を呼び、レジでは商品を渡し、お金を受け取る体験をしました。

買い手の園児は、手作りのお財布からお金を取り出し、上手に買い物を楽しんでいました。

北海道電力株式会社・北海道電力ネットワーク株式会社と災害時協力協定を締結しました

2月7日（月）、北海道電力株式会社及び北海道電力ネットワーク株式会社と「大規模災害時における相互協力に関する基本協定」を締結しました。

【協定の概要】
- **停電復旧作業の支援**
- **施設・敷地・資器材等の資源提供**
- **停電情報、被害状況の情報共有**

今後は、本協定に基づき、平時より意見交換や情報交換を実施するとともに、大規模災害時には相互に連携し、被害が発生した道路や電力設備の早期復旧に向け、迅速かつ的確に対応します。

幌加内町まちづくりビジョン策定ワークショップの終了について

昨年4月26日からスタートしました、ワークショップ（以下「WS」と略）も約11ヵ月間で専門部会等を含め21回の会議を開催し、2月17日の第13回WSをもって、報告書を取りまとめフィニッシュいたしました。

最後のWSには、細川町長にも同席をいただき、報告書内容の説明を受け、WS畑正志代表から報告書を受け取りました。

細川町長からは「これまでの計画に無い、素晴らしいビジョンを策定（提言）いただいた。今後、一つでも多く実現できるよう進めていきたい。」と御礼を述べられました。

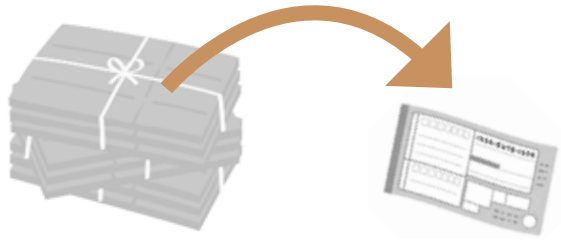
「幌加内町まちづくりビジョン報告書」については、3月2日以降、町ホームページで公表されるほか、町民は役場で閲覧が可能となりますので、閲覧を希望される場合は、役場地域振興室（電話35-2121）までご連絡をください。

住民課環境衛生係からのお願いについて

＊ごみの出し方について今一度ご注意ください。

■段ボールの出し方について

現在、送り状伝票（複写式）がついたまま出される方がおります。リサイクルする上で、送り状伝票（複写式）が障害となります。また、個人情報の観点からも今後は、送り状伝票をはがして出していただきますようお願い致します。

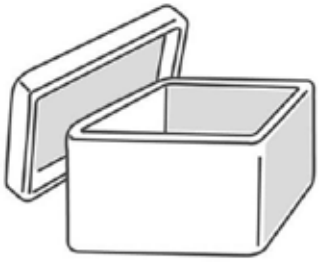


段ボールからはがした送り状伝票は燃やせるごみに出してください。

■発泡スチロールの出し方について

段ボールの出し方同様、送り状伝票（複写式）については、はがしてください。また、ガムテープやラベル等のシールはできる限りはがして出すようにしてください。

※本町では、処分場において、減容処理（粉砕）を行った後、リサイクル業者へ引き渡しております。減容処理機の刃にシール等がくっつき、粉砕に影響を与えます。



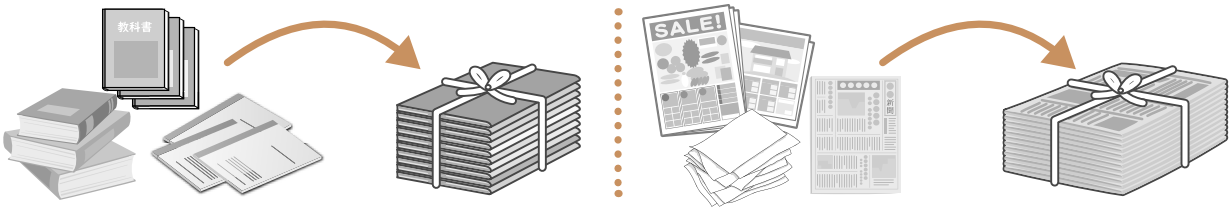
■紙類の出し方について

新聞紙、雑誌類など、紙の種類別ごとに分けて出してください。

例）　教科書、参考書、カタログ、ノート（糊付けされたもの）　⇒　**雑誌類**

　　ルーズリーフ、コピー用紙（A4用紙等）、チラシ　⇒　**新聞類**

※ファイルに入れたままでは、紙類として処理できません。必ず取り出して、それぞれ分別してください。



ご厚志に感謝します

◆ふるさと納税◆　～ １月分の寄付申出状況 ～

１月分の申出状況は《８３件》ありました。たくさんの応援メッセージが幌加内町の力になり励みになります。

※広報掲載希望者のみ掲載させていただいております。

１月３日	田嶋	英治	様（千葉県）	１月25日	京谷	陽輔	様（京都府）
１月８日	遠藤	康治	様（北海道）	１月25日	鈴木	将史	様（神奈川県）
１月８日	増田	章吾	様（兵庫県）	１月26日	林	真二	様（大阪府）
１月10日	内田	博基	様（神奈川県）	１月27日	荒井	和宏	様（和歌山県）
１月13日	多田	高之	様（千葉県）	１月28日	杉川	公治	様（福井県）
１月15日	中川	智幸	様（東京都）	１月29日	三好	麗	様（静岡県）
１月15日	奥村	義廣	様（兵庫県）	１月29日	田中	一郎	様（愛知県）
１月24日	椋木	大地	様（北海道）	１月30日	近藤	清光	様（東京都）

令和３年４月から令和４年１月までの寄付申込件数は《4,730》件です

ほろみん号時刻表

令和４年４月１日から、ほろみん号の終点を「森山病院前」に変更します。
兼ねてより、町立幌加内診療所と医療連携を行ってきた森山病院が宮前通りに移転したことに伴い、医療連携を更に深め、移動の利便性を向上させ町民が健康に暮らせるよう、変更するものです。

自家用有償旅客運送「ほろみん号」

ほろみん号の運行時刻と乗降場所は下記のとおりです。

運行曜日	月・水・金		火・木	
便名 / 行先	第１便	第２便	第１便	第２便
幌加内町役場前	9:00	14:00	8:00	13:30
高校前	9:02	14:02	8:02	13:32
平和	9:04	14:04	8:04	13:34
新成生三又路	9:06	14:06	8:06	13:36
(沼倉・松田) 交　差　点	9:08	14:08	8:08	13:38
親和（中河牧場） 交　差　点	9:10	14:10	8:10	13:40
弥運内（熊野・小山） 交　差　点	9:12	14:12	8:12	13:42
沼牛会館前	9:14	14:14	8:14	13:44
(水上交差点)	9:16	14:16	8:16	13:46
下幌会館前	9:18	14:18	8:18	13:48
旭川赤十字病院前	10:00	15:00	9:00	14:30
スマイルホテル旭川前	10:05	15:05	9:05	14:35
森山病院前	**10:13**	**15:13**	**9:13**	**14:43**
↓				
幌加内町役場前	**11:23**	**16:23**	**10:23**	**15:53**

※復路は、旭川赤十字病院前は、停車しません。スマイルホテル前、森山病院前は、上り下りともに、上記時刻に乗降可能です。
※始発着以外の停留場は、ジェイ・アール北海道バス深名線と同じ箇所ですが、道路交通法により、停留所10メートル以内での停車が禁止されていることから、ほろみん号は、停留所から10メートルを過ぎた箇所で停車しますのでご理解願います。

■ほろみん号を利用するには

①　乗合タクシーの予約
（1）予約は、利用の前日までに下記へ連絡してください。
（2）予約をキャンセルする場合においても同様にお願いします。

株式会社　士別ハイヤー
（予約受付：0165―23―5000・受付時間：10：00 ～ 17：00まで）

※土日祝の予約受付が可能になりました。
（1）例：「10月４日（水曜日）１便の役場前から利用します。」とお伝えください。
（2）例:「10月６日（金曜日）２便の役場前からの予約をしていた○○ですが、キャンセルします。」とお伝えください。

なお、仮予約での受付はできません。また運転手が予約を受けることもできません。

■利用料金

片道　**1,100円**

■割引について

高齢者割引　～　65歳以上の方が対象となり880円でご利用いただけます。年齢の確認のため、乗車の際に身分証明書等の提示をお願い致します。

福 祉 割 引　～　身体障がい者手帳又は養育手帳をお持ちの方が対象です。

対象	等級	対象者	料金
身体障がい者手帳又は養育手帳をお持ちの方	一種	本　人	550 円
		介護者	550 円
	二種	本　人	550 円
		介護者	1,100 円（割引なし）

■回数券（11枚綴り）の販売について

お得な回数券（11枚綴り）の販売を行っております。

金　　額：一般用　10,000円

65歳以上用　8,000円　※購入の際に身分証明書の提示が必要です。

販売場所：幌加内町役場出納室

■乗車の方法は

定刻までに、予約した停留所でお待ちください。運行時刻になって停留所に予約した人がいない場合でも、ほろみん号は定刻どおり出発しますので、時間は厳守してください。なお、交通状況によっては、車輌の到着時間が遅れる場合もあります。

■降車の仕方は

旭川へ向かう便（上り線）に限り、旭川赤十字病院前での降車も可能です。ただし、幌加内へ帰る便（下り線）については、旭川赤十字病院前からの乗車はできませんので、旭川スマイルホテル前又は森山病院前から乗車願います。

■運行車両は

車両は10人乗りワゴン車１台です。（トヨタハイエース）運転手を除く、９名の予約があった時点で定員となりますので、ご了承ください。

■その他の注意事項

・18歳未満及び高校生の利用はできません。（ただし、保護者が同伴する場合は、利用可としますが、乳児や６歳未満の児童は利用できません。）

・運転手は、乗降の介助はできません。単独で乗降できる方が対象になります。（介助者が同乗される場合は利用可能です。）

・停留所以外での乗車はできません。

・土・日、祝日、年末年始は運休します。また、災害等による道路状況の変化により、急きょ、運休する場合もありますのでご了承ください。

・ほろみん号は、予約者が停留所にいなくても指定した時刻に出発しますので、出発時間は、厳守してください。

・荷物はひざの上に収まる程度になるようお願い致します。

令和4年度奨学資金貸付制度のご案内について

幌加内町では、高等学校以上の学校に入学又は在学し、奨学金を必要とする生徒・学生に対して奨学資金を貸与しています。（保護者が本町に在住していることなどの資格要件があります）

令和４年度からの貸与を希望される方は、申請書に必要書類を添付のうえ、申込みしてください。

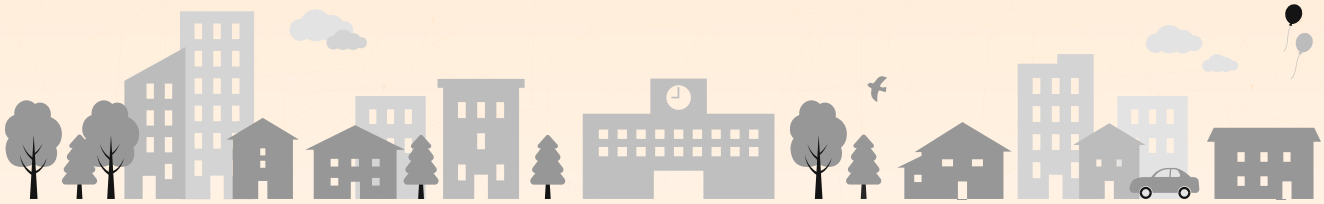
申請書類等は教育委員会の窓口にて配布いたします。

なお、奨学生及び貸与額については、奨学資金審議会にて審査し決定します。

■受付期間　令和４年３月１日（火）～３月31日（木）

【お問い合わせ・申込み先】

教育委員会学校教育係（☎35-2177）



高等学校生徒下宿費等補助事業

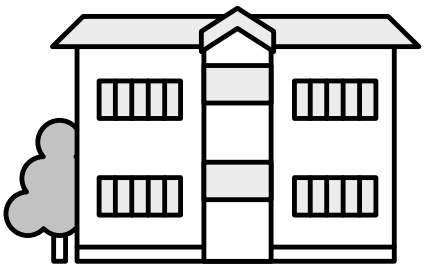
高等学校生徒が幌加内町外へ入学又は在学する保護者の経済的負担軽減を図り、修学機会を確保することを目的として、下宿等に係る費用の一部を助成いたします。（下宿等とは、下宿・アパート・寮のことを言います。）

■助成対象者

町外の高等学校へ入学する者で下宿の費用を負担し生計を一にする親族
（生徒同士で居住している場合はどちらか一人の親族）

■補助金の額

下宿の費用が、月額３万円を超える場合に、生徒一人につき月額１万円を助成
（最大12万円/年を助成）



■対象外となる場合

1　下宿の費用が３万円に満たない場合
2　下宿の入居が連続して１ヶ月に満たない場合
3　下宿に親族が居住している場合
4　生計を一つにする親族に公租公課を滞納している者がいる場合
5　国、北海道、他の市町村から下宿費の費用に係る助成を受けている場合

■申請に必要なもの

印鑑、下宿の契約書の写し及び領収書等の写し、助成金の振込先が分かるもの

■留意事項

1　令和４年３月31日（木）までに申請をお願いします。
2　助成金のお支払いは、下宿費等の領収の確認後となります。
3　高等専門学校及び特別支援学校高等部の対象者は、第３学年までとします。

【お問い合わせ・申込み先】

教育委員会学校教育係（☎35-2177）

インターネットで自分の農業者年金額を試算出来ます!

年金額シミュレーターをご活用ください

■試算の手順

①農業者年金基金のホームページを開き、下記画面（左）の〇印箇所をクリック
②年金額シミュレーションの画面（右）が開くので、ご自身の情報（氏名、生年月日、加入年月日、毎月の保険料額等）を入力します。
③最後に右下のシミュレーションボタンをクリックすると試算額が表示されます。

※令和4年1月1日に「保険料の納付下限額引き下げ」が適用されたことに伴い、
A.2万円以上の保険額の方　B,35歳未満で2万円未満の保険料の方
という選択項目が追加されています。

【農業者年金の加入・受給等に関することは】
ＪＡきたそらち幌加内支所（☎35-2024）
農業委員会事務局（☎35-2122）（内線135）

自動車税種別割の住所変更をお忘れなく

自動車税種別割は、４月１日現在の登録に基づいて課金される税金です。

■引っ越しで住所が変わったときなどは、運輸支局で変更登録をしてください。

次の場合は運輸支局で登録手続きが必要です。
・住所が変わったとき（変更登録）
・自動車を売買したとき（移転登録）
・自動車を使用しなくなったとき（抹消登録）

令和４年度の自動車税種別割納税通知書を確実にお届けするために、３月中に手続きをお願いします。

■変更登録が間に合わないときは…

札幌道税事務所自動車税部にご連絡いただくか、道税ホームページから自動車税種別割の住所変更手続きをしてください。

札幌道税事務所自動車税部（☎011-746-1190）＊自動音声でご案内します。
【https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zim/address/index.html】

せいわ温泉ルオント助成券の取扱いの変更について

■申請書の提出が必要となります。

本町では、以下の要件を満たした対象者宛にせいわ温泉ルオント助成券を発行し郵送しておりますが、令和４年４月１日からは助成券の交付を受けるためには、申請が必要となります。

【対象要件】

４月１日時点で本町に住所を有する者で以下のいずれかの要件を満たす者

① 満65歳以上の者
② 身体障害者手帳の交付を受けた者
③ 療育手帳の交付を受けた者
④ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者

■助成券の枚数が変更となります。

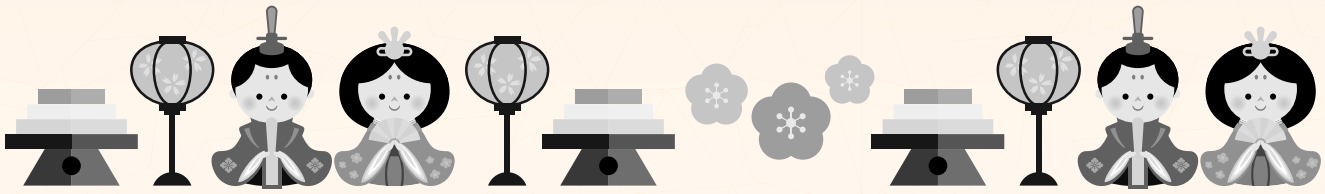
令和４年４月１日からは助成券１冊あたりの枚数が24枚から30枚となります。

■申請の受付期間について

令和４年３月中旬以降から申請受付を開始します。

【お問い合わせ先】

保健福祉課しあわせ福祉係（☎35-3090）



2022年3月 LUONTO 幌加内せいわ温泉ルオント イベントカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1 平日ランチフェア	2 休館日	3 平日ランチフェア	4 平日ランチフェア ♨ 誰でも Day（スタンプ2倍）	5 十割そばフェア ♨ レディース Day（スタンプ2倍）
6 十割そばフェア ♨ ファミリー Day（スタンプ2倍）	7 平日ランチフェア	8 平日ランチフェア	9 休館日	10 平日ランチフェア	11 平日ランチフェア ♨ 誰でも Day（スタンプ2倍）	12 十割そばフェア ♨ レディース Day（スタンプ2倍）
13 十割そばフェア ♨ ファミリー Day（スタンプ2倍）	14 平日ランチフェア ★ホワイトDAY★（女性入浴者）	15 平日ランチフェア	16 休館日	17 平日ランチフェア	18 平日ランチフェア ♨ 誰でも Day（スタンプ2倍）	19 十割そばフェア ♨ レディース Day（スタンプ2倍）
20 十割そばフェア ♨ ファミリー Day（スタンプ2倍）	21 春分の日 十割そばフェア	22 平日ランチフェア	23 休館日	24 平日ランチフェア	25 平日ランチフェア ♨ 誰でも Day（スタンプ2倍）	26 十割そばフェア ♨ レディース Day（スタンプ2倍）
27 十割そばフェア ♨ ファミリー Day（スタンプ2倍）	28 平日ランチフェア	29 平日ランチフェア	30 休館日	31 平日ランチフェア ♨ ルオント Day（スタンプ5倍）		

スタンプDAY内容:
◎ファミリーDAY:家族全員　◎レディースDAY:女性全員
◎誰でもDAY/ルオントDAY:入浴者全員
※他のスタンプDAYおよび割引、サービスとの併用不可　※スタンプの押印は有料入館者に限る
◎入浴料金:大人¥500、小学生¥250、未就学児無料　館内禁煙　Wi-Fi・足湯（無料）

ルオントからのお知らせ】

平日限定ランチフェア
ポークハヤシライス
（サラダ付き）
¥1,000（税込）
1日20食限定・昼の部のみ
11：30～14：00

3月14日（月）限定
★ ホワイトDAY ★
女性入浴者に、ミニキャンディーをプレゼント（無くなり次第終了）

【お問合せ】
せいわ温泉ルオント
電話：0165-37-2070
10：00-21：00　水曜定休

「自ら守る」自主防災組織

■自主防災組織とは

住民一人ひとりが「自らの安全は自ら守る」意識を持ち、そして「自分たちの町は自分たちで守る」ために協力して立ち上げる防災組織のことです。いざという時に対処できる協力体制を整えておくことは、災害時にとても役立ちます。

平時の備えが・・・
- 防災情報の収集や広報活動
- 家庭や地域の消化資機材他安全点検
- 避難所や経路、災害時要支援者の確認
- 防災訓練の実施
- 防災資機材や備蓄品の管理

→

有事に役立つ！
- 被害情報の収集や救護情報の周知
- 初期消火活動
- 安否確認や避難誘導活動
- 負傷者などの救出や救護活動
- 物資の分配や備蓄食料による炊き出し

自主防災組織を作るには、事前に規約や事業計画などを定めておき、効率的な組織運動を行うことが望ましいです。新たに組織を立ち上げなくても、町内会に防災部門を設ける、いくつかの町内会合同で一つの自主防災組織を作るなど、いろいろな方法があります。

自主防災組織設立にあたっては、役場総務課危機対策係にもご相談ください。

【お問い合わせ】
総務課危機対策係（☎35-2121）

消防防災博物館

士別警察署かわら版

北海道警察官募集中

○受付期間　３月１日（火）から４月１日（金）午後５時30分まで
○第１次試験日　５月８日（日）
○第２次試験日　６月上旬～から６月下旬
○募集人数　大学卒男性　115名程度、女性35名程度
高校卒男性　35名程度、女性15名程度

詳しくは、北海道警察ホームページをご覧いただくか、士別警察署までお問い合わせください。

サイバー犯罪の被害防止

近年、スマートフォンの普及等におけるインターネット利用者の増加傾向に伴い、ネットバンキングに係る不正送金事案や、偽サイトに係るフィッシング詐欺事案等のサイバー犯罪が増加傾向にあります。

サイバー犯罪の被害に遭わないように、次の対策を実施しましょう。

- **○　ＩＤやパスワードは、自分自身でしっかり管理する**
- **○　パソコンやスマートフォンには、ウイルス対策ソフトをインストールする**
- **○　パソコンの基本ソフト（ＯＳ）やウイルス対策ソフトは常に最新の状態にする**
- **○　身に覚えのないメールの添付ファイルやＵＲＬは開かない**
- **○　不必要なアプリや信頼のおけないサイトからソフトウェアをダウンロードしない**
- **○　定期的にバックアップデータを保存する**
- **○　オンラインショップでの買物では、そのサイトが本物かどうかよく確認する**

サイバーセキュリティは、一つの対策を講じれば大丈夫という訳ではありません。
複数の対策を併用して、インターネットを安全に利用しましょう。

問い合わせは士別警察署まで。
士別警察署　0165－23－0110

北海道総合計画を見直しました

新型コロナウイルス感染症の拡大や、デジタル化・脱炭素化の動きに対応するため、北海道総合計画を見直しました。

道では、こうした重要課題への対応や北海道の強みを活かした政策を道民の皆さんとともに進めてまいります。

【お問い合わせ先】

道庁計画推進課（☎011-204-5630）

URL：https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sks/sogokeikaku.html

「なだれ」について

3月は、日差しも強く積雪も融け始め、春の温もりが次第に感じられる季節となります。この時期に気をつけたい災害のひとつに「なだれ」があります。なだれは、積雪の多い1 ～ 2月だけでなく3 ～ 5月にかけても発生します。

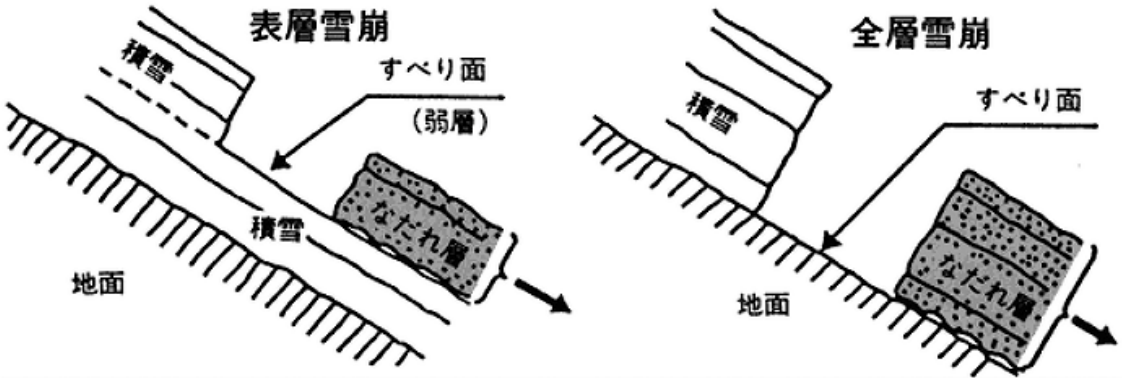
なだれには「表層なだれ」と「全層なだれ」があり、それぞれ発生条件が異なります。

「表層なだれ」は、古い積雪面上に降り積もった新雪の層が滑り落ちる現象で、気温が低く降雪が続く１～２月の厳冬期に多く発生します。「全層なだれ」は、気温の上昇等により融けた水で滑りやすくなった地表面上を積雪層全体が滑り落ちる現象で、３～４月の融雪期に多く発生します。

気象台では、なだれが発生しやすい気象条件が予想された時は「なだれ注意報」を発表して注意を呼びかけています。上川･留萌地方のなだれ注意報は、①表層なだれを想定して「24時間降雪の深さ30cm以上」を予想した場合、②全層なだれを想定して「積雪の深さ50cm以上で、日平均気温5℃以上」を予想した場合に発表します。

なだれが発生しやすい状況の時には、雪の多い地域に住まわれている方や登山やスキーなどで多雪地域を訪れる方は、急な斜面や雪面に亀裂があるなど危険な場所には近づかないようにしましょう。また、市街地では屋根からの落雪のおそれもあり注意が必要です。

気象庁のＨＰでは、現在の積雪の状況や今後の予想も確認することが出来ます。最新の気象情報を上手に利用し、なだれや落雪などの事故にあわないようにしましょう。



【お問い合わせ先】

旭川地方気象台（☎0166-32-7102）

※旭川地方気象台ホームページアドレス　https://www.data.jma.go.jp/asahikawa/index.html

※気象庁HP「今後の雪」ページ　https://www.jma.go.jp/bosai/snow/

いいね！農業センター君

新しいジャンルの仲間？別物？

「フルーツトマト」そんな名前を最近聞きませんか？「フルーツ味の新しい種類のトマト？」これは普通のトマトに「ストレス」をかけて小ぶりになって甘さが凝縮されたトマトのことを言っている事が多いようです。手法は根域制限、水分制限、肥料制限等がありますが、産地に'よって色々です。ストレスをかけることでトマトは自己防衛反応を示し、体を小さくし糖度を高めて生き延びられる体制をとります。

家庭菜園でもできます。水分制限するのが一番簡単で、萎れるギリギリの水しかやらないことです。

ただし水不足から来る石灰欠亡で「尻腐れ」も起きやすくなりますので注意が必要です。

作物には厳しい環境に置かれますが、優しく育ててください。

品種や食感じゃないですが．．

ソバは幌加内町の特産ですが、**「幌加内そば」は地域団体商標制度に基づいて**JAきたそらちが登録出願を行い、**平成19年に登録された幌加内町で作られたソバのブランド名**です。ソバの種類ではありませんし、「ほろみのり」だけを言うのではありません。

「今金男爵」「夕張メロン」などは「地理的表示保護制度」に基づいて認定された、もう少し**絞られたブランド名**と言っていいでしょう。いずれにしろ「ブランド」は大事にしましょう。

幌加内そば

農業技術センター　ワンポイント知恵袋！

テーマ：ジャンボニンニクってニンニク？

よく「ジャンボニンニク」という名前を聞きますね。大きいので「ジャンボ」という言葉がつきますが、匂いはきつくありません。実は**ニンニクでなく「リーキ」の近縁種（仲間）**のことです。

「リーキ」は長ネギの一種ですから、「ジャンボニンニク」は長ネギの仲間になります。さらに匂いの少ない「無臭ニンニク」も「ジャンボニンニク」の一種になります。ただこれらはニンニクの「アリシン」というあの強い匂いの成分が極少ないだけで、それ以外はニンニクと殆ど同じ成分です。アリシンの殺菌作用以外の「疲労回復」「滋養強壮」は同じ効果があるので、にんにくと同じ扱いになりますね。どちらを選ぶかはそれぞれの好みです。

もし栽培したい場合、農薬は「野菜類」で使える農薬を選んだ方が無難です。農薬使用でジャンボニンニクはニンニクの一部になり、煩雑になるからです。

～Best Shot!～ とれたて 新鮮！幌高

1月18～19日　北北海道実績発表大会

本校からそば加工班、作物班、花野菜班、農生会の4班が参加しました。合宿で繰り返し練習を重ね、本番では練習の成果を発揮できました。

1月21日　2年生 職場体験 実習

各自が興味がある職種に伺い、実習をさせていただきました。2～3日間の貴重な経験を通して、将来の自身のキャリアを考える良いきっかけになりました。

1月29日　スキー 学習

1年生や地域みらい留学生にとっては初めてのスキー学習でした。

雪が降りしきる中、ほろたちスキー場のパウダースノーを楽しむことができました。

3月になり、今年度も残りわずかになってきました。

1年生は幌加内での生活に徐々に慣れ、高校生として学習・生活習慣の確立に励みました。

2年生は、新たに地域みらい留学生を迎えての1年でした。個々のスキルを高めながらも、全体としては学習に取り組む姿勢が一段と前向きになりました。3年生のサポート役として活躍する場面も多く見られました。

3年生は、ついに卒業を迎えました。幌高で過ごした3年間を自信に変えて、これからはそれぞれの道へと歩んでいきます。

これまでご愛読していただきありがとうございました。

本校の生徒が日々成長し、無事に年度末を迎えられるのは、保護者・地域の皆様の支えがあったからこそです。深く感謝いたします。来年度も明るい幌高生の様子をお届けしていきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

Best Shot!　今月の写真

3年生が2月27日まで家庭学習期間に入りました。この写真は、今まで過ごした教室に感謝をしながら、3年生全員で掃除をしている一コマです。ここで過ごした3年間を思い出に、4月からはそれぞれの道に進んでいきます。

1月27日には寮で3年生を送る会を開催し、在寮生が感謝の気持ちを伝えました。

Last Month　2月のできごと

1日　朝会・3学年家庭学習期間
28日　卒業式予行練習・同窓会入会式

This Month　3月の予定

1日　第66回卒業証書授与式
3日　令和4年度入学者選抜検査
7日　朝会・頭髪服装検査
9日　地域活動体験学習(朱鞠内)
24日　修了式・離任式
25日　年度末休業(～3月31日)

記事・写真提供：北海道幌加内高等学校　　お問い合わせ：0165－35－2405　教頭まで

付加保険料の納付のご案内

年金だより

国民年金第１号被保険者ならびに任意加入被保険者は、定額保険料に付加保険料を上乗せして納めることで、受給する年金額を増やせます。

【定額保険料】令和４年度：月額１６，５９０円

１．納めることができる方

国民年金第１号被保険者

任意加入被保険者（65 歳以上の方を除く）

２．付加保険料の月額

４００円

３．お申し込み先

幌加内町役場及び旭川年金事務所

４．付加年金額

付加年金額は、「２００円×付加保険料納付月数」で計算し、２年以上受け取ると支払った付加保険料以上の年金が受け取れます。

例えば、20 歳から 60 歳までの 40 年間、付加保険料を納めていた場合の年金額は次のとおりとなります。

２００円　×　４８０月（40 年）＝ ９６，０００円（年額）が付加年金額として老齢基礎年金に上乗せされます。

（毎月の定額保険料（令和３年度：１６，６１０円）を
40 年間納めた場合の老齢基礎年金額⇒７８０，９００円※令和３年度時点の金額）

※なお、付加年金は定額のため、物価スライド（増額・減額）はありません。

５．納めていただく際、次の点に注意してください。

1. 付加保険料の納付は、申出月からの開始となります。
2. 付加保険料の納期限は、翌月末日（納期限）と定められております。
3. 納期限を経過した場合でも、期限から２年間は付加保険料を納めることができます。
4. 付加保険料を納めている方が付加保険料の納付を止める場合は、付加保険料納付辞退申出書の提出が必要となります。
5. 国民年金基金に加入している方は、付加保険料を納めることはできません。
6. 月末が土曜日、日曜日、休日等にあたる場合及び年末の納期限は、翌月最初の金融機関等の営業日となります。

詳しくは、お近くの年金事務所または役場住民課住民係(35-2124)へお問い合わせください。

幌加内町は旭川年金事務所の管轄区域です。

住所：〒070-8505旭川市宮下通り2-1954-2　℡：0166-72-5004，5005（自動音声案内）

こんにちは！保健師です

健康コラム2022

災害時も、感染対策できますか。

今年の１月中旬ごろ、トンガ付近で大規模な噴火が発生し、日本でも津波警報が出る事態となりました。各地で避難所が開設され、東日本大震災の教訓を生かし避難された方もいたようです。

オミクロン株の流行もあり、避難先での感染対策が大切になります。

Q. 避難所に行って感染するのが心配です。

避難所では感染対策を行っていますが、人と人との距離の確保や、マスクの着用、手指消毒、飲食時に大声を出さないなど、一人ひとりの感染対策の心がけが重要になりますので、ご協力をお願いします。

Q. 自分でできる感染対策は？

避難所での集団生活では、新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎等の感染症が流行しやすくなります。

食事の前後やトイレの後、外から入ってきたときには、こまめにせっけんで手洗いをしたあとにアルコール消毒をすることが大切です。また、風邪症状のない方もマスクを着用することが大切です。避難所の備蓄にも限りがありますので、マスクや消毒液、体温計などを自分で持っていくと安心です。

避難所にいると、自分の体調不良を我慢してしまいがちですが、体調の悪化を防ぐためにも早期の対処が重要です。体調が悪い場合はスタッフに早めの報告をお願いします。

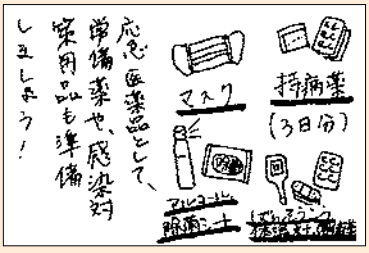
避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。災害の状況をテレビやインターネット、ラジオ、IP 告知などで情報収集し、警戒レベルに合わせて行動しましょう。

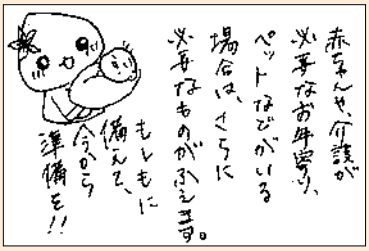
スマートフォンアプリの「ほろみんナビ」では、防災情報や交通機関の運行状況、役場からのお知らせなどが通知されます。また、避難先は役場や各地区のコミュニティセンターだけではありません。安全な親戚や知人宅に避難することも考えてみましょう！

健康まんが

第262回

「非常時の持出品はそろえてますか？」





4月の「健康」カレンダー

●乳幼児・児童に関する行事

子育て教室	15日(金)	保健福祉総合センター	10：00～11：30
乳幼児予防接種	5日(火)	町立幌加内診療所	15：00～16：30
	12日(火)		
	19日(火)		
	26日(火)		

●成人・老人に関する行事

老人健康相談	6日(水)	母子里老人クラブ	10：00～11：00
	12日(火)	政和老人クラブ	10：00～11：00
	13日(水)	幌加内老人クラブ	9：00～10：00
	21日(木)	添牛内老人クラブ	10：00～11：00
	27日(水)	朱鞠内老人クラブ	10：00～11：00
おたっしゃ健診	対象者には個別で案内いたします。		

※当初の予定と変更になる可能性があります。IP をご確認ください。

スポーツ安全保険のご案内

【保険内容】団体活動中の事故や往復中の事故の補償。
【対　象】４名以上で構成しているスポーツ及び文化団体。
【期　間】令和４年４月１日～翌年３月31日
(４月１日以降の申し込みの場合は掛け金支払の翌日から適用)
※お申込み及び掛金・補償などに関するお問い合わせは教育委員会社会教育係へお願いいたします。なお、令和３年度に加入されていた方は３月31日で保険期間が終了しますので、新規加入申込みをお願いいたします。申込用紙等、書類が必要な場合は教育委員会へご連絡ください。

図書室だより

今月のあたらしい本

探花

今野 敏/著　(新潮社)

信念のキャリア･竜崎に、入庁試験トップの新ライバルが出現!?

神奈川県警刑事部長となった竜崎のもとに現れた、同期入庁トップの八島という男。福岡県警から赴任してきた彼には、黒い噂がつきまとっていた。さらに横須賀で殺人事件が発生、米海軍の犯罪捜査局から特別捜査官が派遣されることにー。次々と降りかかる外圧に、竜崎は警察官僚としての信念を貫けるのか。新展開の最新刊。

･その日まで
瀬戸内 寂聴/著　(講談社)
･東大教授、若年性アルツハイマーになる
若井 克子/著　(講談社)
･生きのびるための「失敗」入門
雨宮 処凛/著　(河出書房新社)

事業の記録

◇スキー教室（ジュニアクラス）

１月８日(土)～９日(日)、15日(土)～16日(日)ほろたちスキー場において、スキー教室を開催しました。

今年は総勢34名の児童たちが参加をしてくれました。

参加した児童たちは講師の指導の下、一生懸命滑っていました。

◇小・中学生書き初め大会

１月11日(火)幌加内町生涯学習センターにおいて、講師に竹村竜昭氏をお迎えし、小・中学生書き初め大会を開催しました。

今年は去年より参加人数が多く、開始早々にぎやかで、熱心に取り組んでいました。

参加した児童たちは竹村講師の指導の下で画仙紙に向かい、のびのびと筆を走らせていました。

書き初め大会の各部門の入賞者は以下のとおりです。

◇小学校低学年の部
最優秀賞　伊藤　嘉音
優 秀 賞　堀川　琴愛
佳　　作　古屋　幸起
〃　　近藤　澪

◇小学校中学年の部
優 秀 賞　古屋　燈士
佳　　作　畑　　茉歩

◇小学生高学年の部
最優秀賞　森﨑優美子
優 秀 賞　相澤　寧々
佳　　作　近藤祐一郎

◇中学生の部
最優秀賞　北村　柚乃
優 秀 賞　北村　茅那
〃　　北村　菜桜
佳　　作　蔵前　悠斗
〃　　山本　湊大

生涯学習カレンダー

3月	5日	ワカサギ釣り体験教室	朱鞠内湖

議会だより No.212

編集：議会広報特別委員会

令和3年　第5回臨時会（11月30日）

11月30日に開催され、議案1件、報告2件が提出され原案のとおり決定した。

専決処分

○損害賠償

◎トラックで幌加内市街に向かう途中、車両の前に鳥獣が飛び出してきたため、衝突を避けるためにハンドルを切ったところガードレールに接触し、損害を与えた。

（損害49万5000円を賠償）

○損害賠償

◎町道沼牛東七号線で砂利敷作業中、荷台を上げ前進した際に道路を横断する通信線にダンプ鳥居部を引っ掛け線を弛（たる）ませ損害を与えた。

（損害3万3942円を賠償）

○令和3年度幌加内町一般会計補正予算（第6号）

◎物産品宣伝費、商品券購入費、老人家庭等福祉灯油代助成金、不良空き建築物等撤去促進事業補助金、住宅リフォーム補助金等の増額により、3029万円を追加し、総額47億9530万6000円とした。

ウィズコロナ経済対策ほろかないクーポン券（商品券購入費）

令和3年　第4回定例会（12月9日）

12月9日に開催され、議案10件、諮問1件、報告1件、意見書1件、同意1件が提出され原案のとおり決定した。

町長行政報告

町長の行政報告がありました。概要についてお知らせします。

○「主要農作物の数量・販売見込額」について

「水稲」については農作業が順調に進み、生育についても低温により出芽日数はかかったが、その後は、気温が高く推移し登熟も早く進み、上川の作況指数で108のとおり収量、品質ともに良い出来秋となった。作付面積では、うるち米・もち米合わせて前年比1・0％増の316・49ヘクタール、出荷数量35840俵と反収で11・3俵となった。今年の傾向としては、高温の影響により割れも多く、くず米もやや多いと聞いている。販売見込高は、うるち米の平均価格下落の影響により4億4200万円余りと対前年比1・4％の減である。

「そば」については、5月下旬から6月上旬まで好天により農作業は順調に進み、播種も平年より早まった。7月の高温傾向と干ばつにより、開花期の遅れがあり収量の影響も心配されたところだが、8月の降雨により回復が見られた。作付面積で前年比3・5％減の3313・51ヘクタール、出荷数量4382俵で反収は1・32俵と平年作より下回る結果となった。販売見込高は3億9400万円余りと対前年比16・8％の減である。

その他、現在見込まれているものでは、小麦、馬鈴薯、大豆で2454万1000円、対前年比33・9％の減であり、馬鈴薯の不作が大きな要因である。

野菜については、数量や販売単価の影響により、前年対比10・6％減の448万9000円となっている。

畜産関係については、固体販売が伸びたことなどにより畜産全体で前年比1・0％増の2億6100万円余りとなった。

令和3年産においては、高温・少雨の影響による自然の影響に加えて、新型コロナウイルス感染症により数量や販売額の減少などの影響が大きい中、生産者の皆様には、不断の努力による営農活動に精励されたことに敬意を表するところである。

○「新型コロナウイルスワクチン接種」について

ワクチン接種の実施状況は、本町においては5月12日から医療従事者に対して1回目の接種を開始、その後、65歳以上の高齢者、続いて64歳以下の方々へと順次、接種を進め10月20日をもって接種を希望された全ての方への2回目の接種を終了した。

今回の接種において、接種後の発熱、頭痛等の症状のため24名の方が診療所を受診されているが、アナフィラキシーや入院治療を必要とする症状など、国への報告の対象となるような副反応の発生は1件も無く、無事終了することができた。接種率については、11月末現在、接種対象者1289名のうち、1190名の皆さんが2回目の接種を終了しており、65歳以上の接種者は551名で接種率95・3％、64歳以下の接種者は639名で接種率89・9％、全体では接種率92・3％と、他の自治体と比べてもかなり高い接種率となった。今後、3回目の追加接種について、2回目接種完了からの接種間隔が原則8ヶ月以上と基準で定められており、本町においては現在のところ年明けの2月上旬から接種が可能となる医療従事者への接種を開始し、その後3月上旬から65歳以上の高齢者への接種、そして4月中旬から64歳以下の接種を行い、6月中旬には追加接種を全て終了する予定とし、準備を進めている。

○「北海道赤十字血液センターとの協定締結」について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国的に外出自粛による外食産業の消費低迷で「幌加内そば」の販売が激減し、町内そば関連事業者が苦戦する一方で、赤十字血液センターでも献血者が減少し、基幹病院への血液製剤の供給量を確保できず困っていることを昨年12月のテレビ報道で知り、令和3年4月から半年間ではあったが、「新型コロナウイルス感染症拡大影響応援プロジェクト」と銘打って北海道赤十字血液センター旭川事業所に対し、町が町内6か所のそば加工事業者からそばの買い支えとして乾麺等を安価に購入し、無償で血液センターに啓蒙品として2万食分を提供することで、献血者の確保に協力すると共に「幌加内そば」の消費拡大を図る事を目的に事業を実施していた。この取り組みがご縁となり、令和3年10月29日に北海道赤十字血液センターと道内自治体としては初めてとなる「献血推進・地域振興に関する協定書」を締結し、今後も継続的に「幌加内そば」を無償で提供し、献血者の確保と幌加内そばの更なる知名度向上、消費拡大を図ることとした。また、献血の普及推進には、若年層への啓発が重要であるとの事から、幌加内高等学校の理解もいただき、血液センターによる生徒への出前授業も令和4年度から実施する予定となっている。

本事業の財源としては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用するほか、ふるさと納税の「そばの振興に関する事業」の一部を充てたいと考えており、ふるさと納税者の賛同と納税額の増加にもつながるものと期待をしている。

○「11月24日からの大雪状況」について

大雪状況については、午前3時28分、旭川地方気象台から本町に大雪警報が発令された。その後、午後2時現在で積雪が朱鞠内地区79㎝、幌加内地区48㎝となり、平年比214％及び160％という大雪に見舞われた。特に朱鞠内地区は24時間積雪量が午後0時現在77㎝に達し、平成26年12月3日に観測した66㎝を大幅に上回り観測史上1位を記録する積雪となった。午後2時11分の大雪警報解除後も雪は降り続け11月においては異常とも言える大雪となった。幸い雪害による被災者などが出なかったことに安堵したところであるが、いきなりの豪雪に町民の皆さんは大変ご苦労されたものと推察している。

また、大雪による倒木が原因で送電線に支障が生じ、午前7時23分から母子里地区を中心に48戸が停電となり午後0時47分、母子里コミュニティセンター駐車場に北海道電力が発電車を設置し停電が仮復旧となった。約5時間、停電時間が続き地域住民の皆様には冬季間の中、ご迷惑をおかけしたところである。最終的に倒木処理が終了したのは、翌25日、午後4時29分、配電車を撤去し通常の電力供給になったのが同日午後7時02分であった。

本件については6日に北海道電力より名寄センター所長が来庁し経過説明があった。今後も、地域住民の皆さん及び北海道電力と連携を図りながら非常時の対応にあたっていく。

同意

○幌加内町功労者顕彰条例による表彰

◎被表彰者は、次の1名とした。

市村　裕一氏

諮問

○人権擁護委員の推薦

◎竹村見吾氏に決定した。

任期～令和4年4月1日から令和6年3月31日

財産の取得

○朱鞠内賃貸住宅の財産の取得

・財産の種類
朱鞠内賃貸住宅
2LDK　1棟4戸
木造2階建て
延床面積269・00平方メートル

・契約の方法
公募型プロポーザル選定審査に基づく買取契約

・契約の金額
4950万円

・契約の相手方
代表事業者
三津橋建設株式会社

・構成員
株式会社橋本川島コーポレーション

条例改正

○幌加内町賃貸住宅設置条例の一部を改正する条例

◎朱鞠内賃貸住宅の取得に伴い同住宅を追加及び町内の賃貸住宅の名称等の変更により条例の一部を改正。

○幌加内町公共交通運送事業条例の一部を改正する条例

◎ほろみん号の終点延伸により条例の一部を改正。

・変更前
スマイルホテル旭川前
（旭川市1条通6丁目）

・変更後
社会医療法人元生会
森山病院前
（旭川市宮前2条1丁目1番6号）

○幌加内町国民健康保険条例の一部を改正する条例

◎出産育児一時金を40万4000円から40万8000円に変更するため条例の一部を改正。

補正予算

○令和3年度幌加内町一般会計補正予算（第7号）

◎ふるさと納税謝品、ふるさと納税代行業務委託料、公共交通整備運営基金、そば産地活性化振興基金、個別業務システム改良業務委託料、環境保全型農業直接支払補助金、多面的機能支払補助金、商工業振興奨励補助金、介護人材確保支援事業補助金、療養給付費負担金、橋梁補修設計業務委託料、橋梁補修工事、下幌加内線道路改良工事、町道側溝改修工事、朱鞠内コミュニティセンター等耐震改修工事等の増減により3551万6000円を増額し、総額47億4505万2000円とした。

質疑　稲見議員

Q　一般管理費の車借上料60万円について、町長車が故障し修理ができないため新年度予算で新車を購入するとの説明であったが、現在の状況では納車まで数か月かかる状況となっている。

納車ができない状況の中、新年度予算として計上をしても当面は納車にならないと思われることから、その間、車借上料として経費を使うのであれば早急に車両の契約を行い町長車を購入するように進めてはどうか。

答弁　副町長

A　現在、新車を頼んでもなかなか納車にならない状況は伺っている。

町長車の新車については、検討中ではあるが、起債、省エネ型の車を購入する予定としており、その購入をする事により交付税バックがあることから、財源措置も含めて年度途中ではなく新年度からの購入予定としている。

○令和3年度幌加内町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

◎一般被保険者医療給付費分、国・道支出金返還金等の増減により7万8000円を追加し、総額1億9775万8000円とした。

○令和3年度幌加内町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

◎事務費負担金、保険料等負担金の減額により161万7000円を減額し、総額3381万3000円とした。

○令和3年度幌加内町介護保険特別会計補正予算（第3号）

◎地域密着型サービス給付費、通所型サービス業務委託料の減額により130万9000円を減額し、総額1億9717万3000円とした。

○令和3年度幌加内町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

◎水道台帳作成業務委託料、水質検査業務委託料、幌加内簡易水道施設維持管理業務委託料、水道メーター器取付工事、新設工事用資材等の増減により62万3000円を減額し、総額78

72万4000円とした。

○令和3年度幌加内町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

◎処理施設運転監視業務委託料、下水道台帳作成業務委託料、農集調査診断業務委託料、合併処理浄化槽設置工事等の増減により151万2000円を減額し、総額8612万7000円とした。

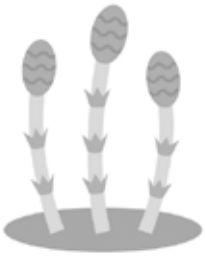
意見書

○地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書案を承諾した。

発議

○閉会中の所管事務調査について

◎議会運営委員会及び総務厚生常任委員会、産建文教常任委員会から所管事務調査についての申し出を協議の結果、許可した。



一般質問

中南議員

Q **イトウの生息に関してどのような認識を示しているのか**

A 地方創生の柱になる「大切な資源」として守り、関係機関と連携を図りながら個体数の維持と振興に努めていく

朱鞠内湖のイトウ

Q **1点目、幌加内町のイトウは貴重な魚だと認識をしているが、町はイトウの生息に関してどのような認識を示しているのか。**

答弁　町長

A イトウは日本最大の淡水魚として大きさや生息数の少なさから「幻の魚」とも呼ばれている。北海道でも1960年以降生息水域が急激に減少し、現在では10河川ほどにしか生息が確認されていない希少種で絶滅危惧種でもある。その中にあって、朱鞠内湖淡水漁業協同組合がイトウの漁業権を取得し、孵化事業を始め、産卵床の調査、イトウの遡上を妨げる倒木除去、遡上が困難な場所に魚道を作るなど個体数の保護、増殖等の取り組みに対し、大きな敬意を表しているところである。

また、ふるさと納税についても、令和2年度実績で、イトウの保護に関する事業に295件880万5000円の寄付を頂いている。これらを原資として本町としても、水産業振興補助事業として、イトウの受精卵や稚魚の放流事業のほか淡水魚生息状況調査事業に対し助成しているところである。

引き続きガイド付きツアーの提供などを実施し、観光入込や交流人口の増加などに期待をしているところである。イトウについては、本町の地方創生の柱になる「大切な資源」として守っていくことが、今後重要視されるSDGsにもつながるものであり、関係機関と連携を図りながら、個体数の維持と振興に努めていく。

Q **2点目、朱鞠内湖のダム以北のイトウは漁協が保護、増殖、活用しているが産卵用のメスの数は100尾いないと言われている。**

北部は漁協がなんとか守っているが、ダム以南の雨竜川について近年、春と秋に相当数の釣り人がイトウ目当てに釣りを行っている。

雨竜川のイトウについては、国や道が管轄となるが、町は調査要望や河川改修の際、国や道に対して要望や提言等を行う気があるのか、ないのか。

答弁　町長

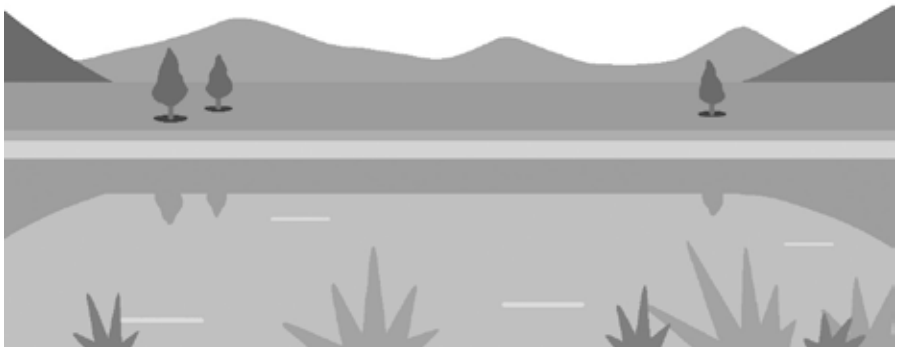
A 雨竜川のイトウの調査要望と河川改修の際の要望・提言について、近年、雨竜川に釣り客が増えているのは目の当たりにして感じている。現在、治水対策として、石狩川水系である雨竜川といった位置づけで対策を講じてもらっている。

新雨煙別橋以南は開発局、以北は北海道の管理河川となっており、それぞれに向けて要請活動を行っている。平成29年に採択となった「雨竜ダム再生事業」として、第2ダムの嵩上げ等の調査が進められているが、石狩川上流部に位置する本町にとって、原始河川の大変多い雨竜川においてこの工事が進むことによって治水効果が極めて早く表れる事業であると思っており、事業の促進に期待を寄せている。

この雨竜ダムの調査の中では環境調査も行っていると聞いているが、事業自体が環境アセスメントの必要のない事業と伺っており、イトウの生息数や産卵床調査といった具体的な調査は行われないものと思われる。

雨竜川治水対策の現況としては、堤防の強靭化や河川掘削が逐次進められている。環境に大きな負荷をかける護岸工事等の

計画は今のところないものと認識しているが、そのような事業計画が示された場合、希少種であり、本町の地方創生の大事な資源でもある「イトウ」を保護していくために、必要となれば河川管理者と都度協議、調査等の要請をしていく。



一般質問

小関議員

Q 町づくりへの取り組みについて

A 地域資源や自然景観のポテンシャルの高さを多方面に発信し、企業と持続可能な関係を構築していきたい

Q 町づくりへの取り組みについて、近年、上川管内をはじめとする各自治体では人口減少対策として、移住・定住・交流人口増など多種多様な施策を打ちだし話題になっている。

本年は本町でも子育て世代、地域の未来を担う世代を中心とした「まちづくりビジョン策定ワークショップ」が設立され、協議を重ねている。

最近では上川管内上川町で民間企業との連携による町づくりへの取り組みが報道されている。佐藤芳治町長いわく「小さな町をみんなで心豊かに感じる活気あるものとして、この町で暮らしていこうと思ってもらえる街を作っていこう。企業との繋がりや連携により諦めたり、これでいいやとそこでとどまると、その自治体、地域の後退が始まる。小さな事に挑戦していく事が必要でワクワク感でいっぱい。」とのコメントがあった。その中身は上川町がこうしたいとかではなく、どんな企業が何をしたいのか、何を売りたいのかは一切触れていなく、企業と行政がタッグを組み町民にここの街で暮らしていきたい思いを、どう伝えていくのかが議論になっているのだろうと推察をしている。

本町の特産のそば、近年では幌加内高校での2次加工、6次化これらの取り組み、四季折々の自然環境等、本町の持っている地域ブランドを一層生かしていくのも必要だと思われる。特に民間企業の持っている情報量・技術力を生かしていく事が必要ではないかと感じているところであるが、これらの取り組みをどのように考えているのか。

答弁 町長

A 上川管内をはじめ多くの自治体では、民間企業と連携することの重要性を認識し、様々な手法で連携や協力をしていることは十分承知をしており、大いに参考にしたいと感じている。

しかし、それぞれの町の背景、特徴など、どういった企業とタッグを組むのかは千差万別ではないかと感じているところでもある。近年では、均衡ある発展を目指し、高度成長期に整備した公共施設が半世紀になろうとしている。今後、多大な改修経費を要したり不必要な時代となり、こういった公共施設の活用を図るため、「サウンディング型市場調査」と称し、公共施設の課題や将来像を探るため民間の力を借りる「公募」をする自治体も増えている。

現在、「まちづくりビジョン策定ワークショップ」もプロジェクトを一緒に実践する団体や法人格ではないが、広義的には同じ意味合いがあるものと考えている。

質問にあった「自然環境など、地域資源が十分に生かされていない。」との指摘については、今まであまり発信はしていないが、それなりに企業と連携をして取り組みをした事例を何点か紹介をする。幌加内高校では、北海道とヤフー株式会社との連携事業により、本校が選ばれ「デジタル人材育成プログラム事業」でヤフーによる6次化授業の取り組みが向上し、現在の幌高商店会の運営やマーケティングにも生かされている。先般6日の北海道新聞「学びアイ」の記事で、「地域みらい留学365」が北海道の斜里高校、鵡川高校と一緒に幌加内高校が掲載され、本校ならではの魅力が大きく報道された。

また、幌加内町地方創生実行委員会顧問やNPO法人北海道グランドワークの協力により、最近、幌加内そばの新商品が開発されコープさっぽろから販売されている。また、東京のゲームソフト開発会社による、朱鞠内湖畔での冬季ワーケーションが実施された縁で、指定管理者であるNPO法人理事長が札幌で開催されたビジネスEXPO2021へ招待され、道内外の

民間企業等が集まる中で今後の自然環境を生かしたワーケーションへの展望など講演を行っている。

また、朱鞠内で開催された「イトウフォーラム」では、国内の様々な分野において一線級で活躍をしているスペシャリストが朱鞠内に集まり、朱鞠内湖へ流入している河川の「氾濫原」をテーマにシンポジウムが開催され、多くの方が参加された。長いコロナ禍の状況で少し停滞したように感じられるが、本町の地域資源や自然景観のポテンシャルの高さを多方面に発信し、民間活力との協調が図られていると、認識をしているところである。今後もアンテナを張り巡らし、民間企業と連携をしながら人材育成やノウハウを生かし、本町の魅力を十分理解していただき、協力いただける企業と持続可能な関係を構築していきたい。

Q　テルケアの問題や最近では公営住宅もプロポーザル、こういった取り組みが町の方でも真剣に取り組んでいるところである。
これからは1自治体のみならず財源的にも人口減少を伴えば当然、厳しい状況に陥ると思われる。民間企業の資金力、技術力、情報量等を大いに活用すべきところだと強く思う。

答弁　町長

A　本町の財政、数字的には極めて北海道の中でも良い方ではないかと感じているが、今年の決算あたりから基金に手をつけて黄色信号が灯ってくると思われる。その中で1自治体で全て完結をするような時代は、もう継続できない。行政自体が持続可能でやっていけるのかどうか、これは本当に1自治体だけでは無理かなと感じている。今まさしく医療の方では、それぞれ医療の計画が進められているが、本町も病院から診療所にスケールダウンをさせて頂いた。こういった自治体がこれからどんどん増えてくるし、それを上手くやっていくためには行政同士が連携をしながら進めていくような時代になっていくと思われる。

これから、水道、下水道については公会計となってくることから、かなり大きな経費がかかってくる。これらも最近、首長が集まる中では、そろそろ広域化を考えては良いのではないか、また、1自治体では人材がなかなか確保できないことから人材に関しても共同で採用しても良いのではないかなどの話しも出始めている。もちろん町が経済的に発展していくためには、そばであれば民間の力を借りることなども必要だと思われる。朱鞠内湖観光であれば今はアウトドアブームで、いろんな自治体がアウトドアの業者と手を組んで進んでいる。その中で幌加内町のポテンシャルは非常に高いと感じていることから、ぜひアプローチを試みながら進んでいきたい。

一般質問

蔵前議員

Q　幌加内町の防災計画、緊急時の対応について

A　各自治区長や関係機関と連絡を取りながら災害対応、避難訓練等を実施し、より強固な体制づくりを目指す

Q　幌加内町の防災計画、緊急時の対応について、先日も当町において観測史上を記録する大雪もあったが、近年の異常気象下において、我々の想像を超えた集中豪雨や大雪等、今後様々な災害が起こりうる可能性があるかと思われる。
幌加内町において防災計画が整備され、その有事に対応するマニュアルがあると思うが、風水害、雪害等の災害が発生した場合、南北に長い地域で各地区の町民の方々に避難等の必要がでた場合において、各組織と連携が取れた体制づくりができているのか。

答弁　町長

A　防災、減災に関しては100点満点がないといった状況の中、近年、経験をしたことがないような気候変動に備えるのは極めて難しいのかなと常日頃考えているところである。

本年7月29日、関係機関、自治区長など37名の参加があり開催された「災害対策懇談会」において、旭川地方気象台より、豪雨災害について話があった。近年は、集中豪雨や台風等による大雨が頻発しており、雨の降り方、これは雪の降り方にも言えるが、局地的、集中化、激甚化してきている。いったん雨や雪が降れば大きな災害につながり、尊い命が奪われるとの説明があった。質問にある通り想像を超えた集中豪雨、大雪等の災害について今後一層懸念されることは、私も感じているところである。

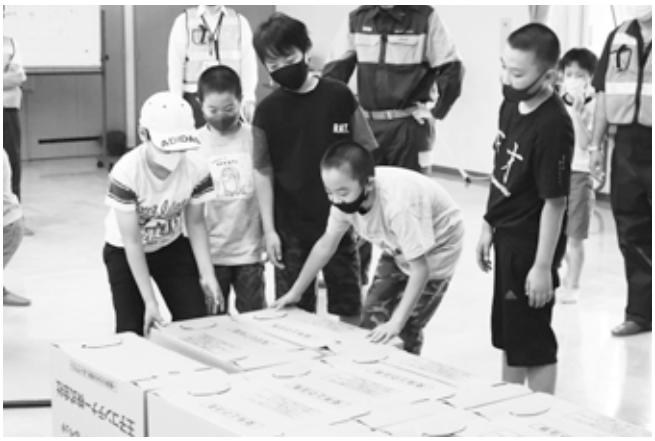
幌加内町地域防災計画の改訂版の最新は、令和3年6月現在となっている。その中で防災組織として、住民組織等の活用が定められている。町本部及び関係機関の組織をもっても応急活動に人員不足が生じた場合、各住民組織等に協力を求め、また、ボランティアの支援・協力を得て、応急活動を実施することとなっている。その中には、各自治区、町内会のほか、商工会青年部や農協女性部など8組織にも加わってもらっている。

直近では本年5月8日、母子里自治区15名参加、6月26日、朱鞠内自治区30名参加、7月17日、添牛内自治区18名が参加し、第2分団の消防団員とも連携して水害を想定した避難訓練を実施した。実際の訓練の中では、IP告知端末機からの情報が流れなかったり施設入居者の避難の困難さを実感することがあり、訓練を実施することで不備な点、見えてくる部分が数多くあることを実際に参加し感じたところである。

質問にある「連携が取れた体制づくりができているか」に対しては、各自治区長や関係機関と連絡を取りながら災害対応にあたっている状況であるが、引き続き、避難訓練等を実施しながら、より強固な体制づくりを目指すところである。

前述した「災害対策懇談会」において、元自衛官の方の講話があった。なぜ自衛隊は災害派遣という厳しい状況でも無理ができるのか。やはりその人を助けたいという思いが強いこと。その思いが強くなるということは、地域を愛する、地域の方々を好きになる、幌加内のことが好きだということになれば大きな力が発揮できる。昔は、向こう三軒両隣で近所の連携もできていたが、今は隣の人が何をしているのかもわからない。地域のことがわかっていれば、その人を助けたいという気持ちは強くなる。誰だか知らないと自分の危険を冒してまで助けようという気持ちが薄れる。そういうところから自主防災組織を作ってもらおうという話になる。逆に言うと地域の連携が強くなれば安心安全な地域社会が形成される。そういったお話に共感を得て、小さな町だからこそ出来ることもあると認識したところである。

今後は、単なる訓練だけではなく地域のことを学ぶ、お互いに理解しあう観点、例えば要支援者がどこに住んでいる、ハザードマップをお互いに見直してみる、各組織で災害に対し何ができるかなど、南北に長い地域の特殊事情を鑑みながら、本町の防災組織力を高めていきたい。



避難訓練の様子

●議会事務局からのお願い●

議長宛の文書や案内状は、議長公務の日程を調整する必要がありますので、直接議会事務局へ送付願います。

（送付先）　〒074-0492　北海道雨竜郡幌加内町字幌加内4699番地
幌加内町議会事務局宛

一般質問

稲見議員

Q 小学校・中学校のオンライン授業の環境整備について

A 学校をはじめ関係団体と協議を進め、児童生徒の学習機会の確保に向けて取り組んでいく

Q 小学校・中学校のオンライン授業の環境整備について、小学校・中学校の生徒全員にタブレットも普及し、ICT教育も充実し活用もしているがオンライン授業の環境はなかなか進んでいないと思われる。

現在、兄弟のいる家庭で1人が発熱等で体調を崩すと兄弟全員が休みとなるがオンライン授業が受けられれば、元気な子は同じ授業を受けられ親も安心すると思われる。

さらに、天候が酷く学校に行かせるのが不安な時や通行止めなどで登校できない時でも、オンライン授業は十分に活用できると思われる。先日、学校の方から家庭にWi-Fi環境の調査もあったが、今後オンライン授業の環境を整備する考えはあるのか。また、あるのであればいつ頃を目処に進めていくのか。

答弁 教育長

A 本町では幌加内町学校教育推進計画において「確かな学びと夢や希望を育む学校教育の推進」と「地域の特色を生かした活力あふれる学校教育の推進」を図り、子供たちの有する能力を伸ばすことで、知・徳・体それぞれ調和のとれた人間形成を目指した教育活動を行っている。学習用タブレット端末の貸与については、国のGIGAスクール構想による町内の小中学校の児童生徒へ1人1台、タブレット端末の貸与が既に完了しており、授業での活用を進めている状況である。タブレット端末の家庭への持ち帰りについては、現段階ではまだ許可をしていないが、来年度当初から本格的に家庭で活用実施に向けてタブレット持ち帰りのルール作りに着手をしているところである。

内容としては、今後起こりえる緊急時での学校休校や学級閉鎖時などの利用はもとより、各学校や学年の学習に合わせて、必要に応じて自宅にタブレットを持ち帰り利用することを想定しているが、それぞれの家庭のインターネット環境の整備状況や家庭内でのタブレットの活用ルールの設定など、タブレットの持ち帰りによる活用のためには、いくつかのハードルがある。

児童生徒はもちろん、保護者の皆様の理解と協力が必要であると考えている。

今後、学校をはじめ関係団体と協議を進め、児童生徒の学習機会の確保に向けて取り組んでいく。

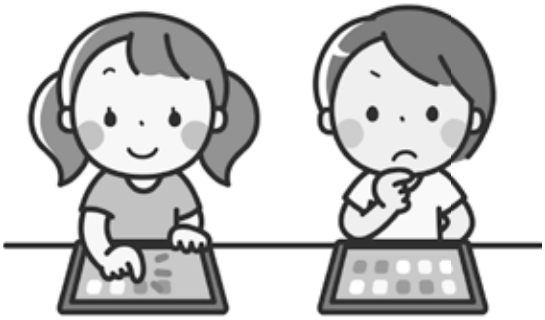
Q 環境の整備等で大変なこともあると思われるが、幌加内町は南北に長く特殊な地域実情でもあり他の地域と一緒ではないと思う。

北部の方たちは交通の便も大変な部分があり、街の方たちよりも環境が厳しい中、このオンライン授業でなるべく平等を取れるよう、その辺も含めて話し合いをしてほしい。

答弁 教育長

A 北部地区については現在、町の方で用意をしているポケットWi-Fiが届かない地域もあり地域によって違いがある。

更にはインターネットの費用をどこがどう負担をするのかなどの問題もある。それらも含めて保護者、関係機関と協議をした中で新年度からの活用に向けて協議を進めていきたい。



★ 議会を傍聴してみませんか ★

議会の開催時期

- **第 1 回 定 例 会　3月中旬**
- **予算審査特別委員会　3月中旬**
- **第 2 回 定 例 会　6月中旬～下旬**
- **第 3 回 定 例 会　9月中旬**
- **決算審査特別委員会　10月中旬～下旬**
- **第 4 回 定 例 会　12月中旬**

議会事務局／公民館3階
☎ 0165-35-2121（内線373）

※傍聴される方は、受付票に「住所」「氏名」を記載して投函して下さい。
※新型コロナウイルスの感染予防としてマスクの着用をお願いします。

～決算審査特別委員会～

令和2年度決算審査、全て認定されました!!

令和3年度第3回定例会において「決算審査特別委員会」に付託された、一般会計をはじめ各特別会計の令和2年度決算は、それぞれ厳正に審査を行った結果、全ての決算は認定すべきと決定しました。

委員審査での質疑を抜粋し、次のとおりお知らせいたします。

＊決算審査日　令和3年10月25日～27日（3日間）

＊特別委員会委員　議員6名（議長、議選監査を除く）

一般会計

＜企画費＞

質疑　中南議員

Q　ほろみん号の委託料380万円について、今年度、車両等を購入して340万円ほどの経費となっているが収入では60万円程となっている。

コロナの影響で利用者数が減少したとはいえ、非常に少ない中で、今後ほろみん号を続けていけるのか町長の考えを伺いたい。

答弁　町長

A　ほろみん号については、試験運行からようやく運輸省の許可を得て正式路線となった。

現在の形が完結とは思ってはいなく、これからも利便性を高めていきたい。あるいは北部地区も視野に入れながら展開を図り、単年度収入で継続の分を判断するのではなく、今後も継続をしていきたい。

＜社会福祉総務費＞

質疑　中南議員

Q　防犯灯維持管理費補助金について、国道側に設置されている防犯灯だが水銀灯に変更後、夜間になると車道側が明るく歩道側が暗いが、設置が逆ではないか。

答弁　住民課長

A　防犯灯は基本的に自治区または町内会の要望に沿って設置をしている。

ご意見がある場合には、自治区長または町内会長と再度現地確認を行ったうえで改良が必要なのか検討をしていく。

＜農業振興費＞

質疑　中南議員

Q　農業振興奨励補助金について、小規模土地改良事業で暗渠が2件との説明があったが率の良い道営事業で誘導をしていく事は出来ないのか。小規模も長年行ってきていると思うが、負担率的には道営事業より多いと思う。

今後、小規模ではなく道営で行えるように誘導は出来ないものか。

答弁　産業課長

A　土地改良事業とも連携を図りながら進めているところである。暗渠2件については、本人から申し出があり緊急性があることから実施をした。

土地改良事業も計画的に事業を進めており、次期計画やその次の計画も含めて実施をするように生産者には説明を行っている。

質疑　蔵前議員

Q　経営所得安定対策等推進事業補助金について、再生協議会に対する支払いだと思われるが、前年度に対して50万円程値上がっている部分と、これは固定なのか固定ではないのか。

答弁　産業課長

A　事業に対する事務費であり、対象事業に対して充てたもので固定ではない。

毎年変動をするもので、人件費、紙代、連絡、通信費などの事務費に充てられたことにより昨年度より増額となった。

＜農業活性化センター運営費＞

質疑　中南議員

Q　備品購入費について、飛沫防止のためのパーテーションを購入しているが、飛沫防止となれば総務費の感染対策費となり、各課ではその科目で購入をしていると思われるが、なぜこの部分のみこの科目で支出をしているのか。

答弁　産業課長

A　今回は葬儀関係の飛沫防止用として、この予算で支出をしている。1台は常設のため事務室に設置分をこの予算で支出し、もう1台は総務課から借りて使用している。

＜土木総務費＞

質疑　中南議員

Q　名寄遠別線について、幌加内側は終了をしていると聞いているが、現在は遠別側の工事をしていると思うが、開通はいつ頃となっているのか。

答弁　建設課長

A　遠別側の路盤が弱いため補強工事等に若干手こずっている状況ではあるが、計画通りに進めば現在のところは令和7年開通と聞いている。

特別会計

＜介護保険＞

質疑　中南議員

Q　ボランティア謝礼について、ボランティアとは無償で手伝うなどの意味となることから、例えば、助手の謝礼などの文言に変更できないのか。

答弁　保健福祉課長

A　ボランティア謝礼の内容については、頭の健康教室をボランティアで手伝ってもらっている方の謝礼となる。

昔からボランティア謝礼としてきていることから、今後、財務係とも協議をして検討をする。

◎決算審査とは

歳入歳出決算を審査して、認定に関する審査を行い、議会が決定をした予算について適正に執行されているかを審査するとともに、各種資料に基づいてその行政効果を評価する極めて重要な意味があります。審査の結果は後年度の予算編成や行政執行に生かされます。

わたしの一言

田丸　凌伍さん

生まれてから幌加内で過ごし、高校で旭川へ行き高校卒業後、幌加内に帰ってきて3年目になりました。

少しずつではありますが農家の仕事や、冬季の除雪の仕事もようやく慣れてきました。

農協青年部に入り、友人関係が増加し、コロナで活動は少ないですが楽しく過ごしています。

最近では昔から続けていた剣道を再開し、少年団のほうで練習させて頂いています。

仕事と趣味の充実を実感しています。

コロナと寒さでまだまだ厳しい冬がつづきますが、一生懸命頑張って行きましょう。

中学生当時の田丸さん(写真左側)

剣道の練習風景

議会日誌　9～12月

9月

16日　議員協議会（幌加内）
　　第３回議会定例会（幌加内）
　　議会運営委員会（幌加内）

10月

７日　上川北部市町村議会議長会定例会（下川町）
22日　交通安全パレード出発式（幌加内）
25日～ 27日
　　決算審査特別委員会（幌加内）
27日　議会広報特別委員会（幌加内）

11月

２日　士別地方消防事務組合議会臨時会（士別市）
５日　幌加内町戦没者追悼式（幌加内）
６日　朱鞠内湖淡水漁業協同組合シンポジウム（朱鞠内）
14日～ 15日
　　全国過疎地域連盟定期総会（東京都）
16日～ 18日
　　議会議員研修（東京都）
22日　上川教育研修センター組合臨時会（旭川市）
　　ほろたちスキー場安全祈願祭（幌加内）
30日　議員協議会（幌加内）
　　第５回議会臨時会（幌加内）

12月

２日　議会運営委員会（幌加内）
５日　陸上自衛隊第２音楽隊第46回定期演奏会（旭川市）

我が家のアイドル！

小林　郁斗（いくと）くん
令和2年11月22日
父 大輝さん
母 知邑さん

予定日よりも3週間早く生まれた我が子。体は小さいながらに大きな産声でびっくりしたことを思い出します。とにかく置かれることが嫌で泣きまくっていた日々でしたが、今ではお出かけする度いろんな人に愛想をふりまいています。歩けるようになったらたくさんお出かけしようね。

ひとのうごき

おくやみ申し上げます

1月25日 三浦　英一様（85歳）

ご厚志に感謝します

2月1日　三浦依理子様
（父、英一様の葬儀に際して）

お詫びと訂正

2月号に誤りがありました

「3名の幌高生が三段位取得」

×河辺さん
○河部さん

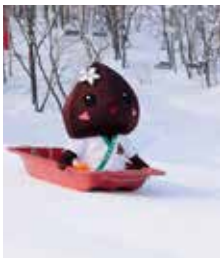
「お誕生おめでとう」

倉内　柊（しゅう）くん
×11月　6日
○11月16日

謹んでお詫び申し上げます。

担当者からのひと言

新型コロナウイルス感染拡大により、取材の機会が減ったため、表紙をどうしようか悩んでいましたが、ほろみんから逆オファーをもらい、スキー場と朱鞠内湖での冬のアクティビティを体験した様子を撮らせてもらいました。



撮影の様子は町のフェイスブックにもupされていますので、そちらもチェックして見てくださいね。

まちの人口

※1月末現在

［世帯数］　721世帯（前月比−1）

人　口	1,331人（前月比−1）
男	661人
女	670人

道の駅クーポン

せいわ温泉ルオント入浴料

大人 100円引き
小人 50円引き

さらに！スタンプ2倍

■2022年4月末迄
■何度でも利用可

※クーポンは切り取り、ご提示ください。
※他スタンプDay及び割引、サービスとの使用不可

幌加内町 **広報ほろかない 2022年3月号**（No.795）

■発行日　令和4年3月1日　■発行所　幌加内町（北海道雨竜郡幌加内町字幌加内 ☎0165-35-2121）
■印　刷　株式会社 須田製版

※広報ほろかないは、見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。UD FONT